

令和7年度羽島市教育委員会点検評価委員会 会議要旨

日 時	令和7年8月6日（水） 13時30分～14時55分
場 所	羽島市役所本庁舎 4階 第1委員会室
出席者	【委 員】 棚野委員長、坂井副委員長、高橋委員、杉山委員、小林委員 【事務局】 森教育長、不破事務局長、小川次長兼教育政策課長、稲葉次長兼同課施設担当課長、児山次長兼学校教育課長、安藤西部幼稚園長、竹内北部学校給食センター所長、亀山南部学校給食センター所長、長江学校教育課課長補佐、近藤教育支援センター所長補佐、高木教育政策課課長補佐、山田同課課長補佐、服部同課政策係長、堀同課主査、豊島同課専門員 【傍 聴】 無し
内 容	1 委嘱書交付 2 開会 3 委員紹介 4 委員長・副委員長選出（棚野委員長、坂井副委員長を互選） 5 議事 羽島市教育委員会の令和6年度の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価 ・事務局から資料を用いて説明を行う。 【委員】 ・重点目標の達成度について、示された数値を評価するのか、あるいは基準値からの差分に対する達成率という点で評価するのか確認したい。 【事務局】 ・年度ごとに示された数値を評価していく。 【委員】 ・例えば、目標値 100%に対して報告値 90%を超えると、一般的に高い達成度であると思う。その点で 90%を超えている数値は良好な数字と捉えてよいか。 【事務局】 ・一般的に 90%を超える数値は高いと捉えられる。しかし、目標値を 100%としている項目については 90%を超える数値でも良好な数値と捉えることはできない。また、指標の数値は「全国学力学習状況調査」の項目から位置付けている。全国や県の数値との比較という視点も大切にしていきたい。 【委員】 ・成果指標の報告値について、児童と生徒の数値が分かれているものと、児童と生徒

の数値が一括りになっているものがある。例えば、「時間外勤務時間が月 80 時間未満の教職員の割合」については一括りになっているが小学校と中学校を分けて示した方が羽島市の傾向等が分析しやすいのではないか。

(1-1(7)教職員の働き方改革の推進)

- ・「地域と連携したキャリア教育の推進」の成果指標について、生徒の数値が低下しているが、考えられる要因はあるか。

(2-8(3)地域と連携したキャリア教育の推進)

- ・「朝食を毎日食べている児童生徒の割合」について、どのように調べたのか。93.5%という数値が昨年度と同じであるが、対象の児童生徒は同じなのか。

(2-6(2)家庭教育を通した食育の推進)

【事務局】

- ・キャリア教育については、市内学校で「志授業」を実施し、「夢や目標を持つことの大切さ」等を学ぶ機会を位置付けている。また、数値の低下を受けて、今年度はキャリア教育のカリキュラムそのものを見直す場を設ける予定である。さらに、「キャリアパスポート」についても、自己の歩みを実感できるような活用方法になるよう学校に指導・助言していきたい。
- ・朝食の数値については、全国学力学習状況調査の質問紙の項目から算出している。対象児童生徒は年度ごとに異なり、今回の数値が前年度と同じになったことは偶然である。

【委員】

- ・年々、報告書の洗練度が上がっていると感じる。幅広い分野に対して確実に進めている印象である。
- ・目標値について、時代（社会）の変化とともに変えるべき項目もあると感じる。例えば、教職員の時間外勤務 80 時間未満の割合を数値化しているが、民間企業に置き換えると 80 時間はかなり高い数値である。今後は、60～70 時間という目標値が実現するとよい。

(1-1(7)教職員の働き方改革の推進)

- ・地域とのかかわりに関する成果指標について「目標値」を 70.0%に対して報告値 80.9%と高い数値である。目標値に達していない数値の分析に留まらず、こうした高い数値の項目の分析も必要である。

(2-1(1)地域との関わりを大切にした、円滑かつ効果的な「子どもが主役となる」活動の実施)

- ・情報教育の推進に関する成果指標で「友達と意見を交換したり調べたりするために ICT をどの程度使用しているか」とあるが、調べることと、友達と意見を交換することを並列で聞いていいのか。指標の項目について、精査していく必要がある。

(2-2(4) ICT 機器の環境の整備)

【委員】

- ・全体的な指標にかかわって、(難しいことかもしれないが) 外的要因がどの程度作用しているのか。例えば、朝食を食べていない児童生徒の保護者は朝食を食べているのかなど、家庭環境との関係性が分かるとよい。

【委員】

- ・インプットしたことをアウトプットすることで学びの定着を図ることができる。外

国語教育の実施内容を見ると、対話活動パフォーマンステストなど、アウトプットすることに重きを置いて授業を展開している点が素晴らしい。

(2-8(2)外国語教育を通したコミュニケーション能力の育成)

- ・多様性への対応という点で外国人との共存は避けて通れない。共存に向けた政策を確実に位置付けていることは素晴らしい。今後も推進してほしい。

(2-8(6)外国人児童生徒等への支援の充実)

【委員】

- ・こどもの悩みに対応した相談体制ということで、事務局の説明の中で、適応指導教室「こだま」22人、のぞみ22人、メタバース「Room-HIKARI（ルームヒカリ）」10人が利用したことを知り、選択肢を増やし、細かな支援の充実を図っていることがよい。
- ・令和7年度はメタバースのシステムを改善するとあるが、具体的にどのようなことができるようになるのか。

(1-1(2)子どもの悩みに対応した相談体制の充実)

【事務局】

- ・昨年度までは仮想空間内で相談員と対象者が一対一でやり取りできるシステムであったが、今年度からはこれまでの相談員とのやり取り以外にこども同士の交流ができるようにバージョンアップする予定である。

【委員】

- ・相談員（大人）がいない状況でもこどもは「Room-HIKARI」に入り、交流することが可能になるのか。

【事務局】

- ・相談員が仮想空間にいる時に「Room-HIKARI」が運用されるため、こどもだけの利用はできないようにしていく。

【委員】

- ・家庭教育学級の参加率が57.7%と目標値より低い数値である。県や他市町の状況は把握しているか。

(3-1(1)家庭教育に関する学習機会の充実と参加促進)

【事務局】

- ・県や他市の動向（参加率）については把握できていない。

【委員】

- ・可能であれば、県や他市の動向も掴み、成果指標の数値や内容の見直しを検討することが必要になる。

【委員】

- ・先ほど話題に上がった朝食の摂取率にも若干関係するが、経済的に困窮している家庭が増える中で、教育委員会で様々な施策を立てている自治体があると聞く。羽島市教育委員会では、経済的に困窮している家庭に対して、何か支援していることや、

福祉分野と協力していることはあるか。

【事務局】

- ・就学支援の充実に加え、人的な支援としてスクールソーシャルワーカーを増員し、家庭訪問をこまめにしながら家庭支援をしている。
- ・物価の高騰を受けて、給食の食材費は値上げをしているが、小学校については値上げ分は全て市が補完している。また、中学校については、令和7年4月から全額無償化をしている。

【委員】

- ・避難所としての利用も考えられる学校の施設に関して、羽島市の公立小中学校の屋内運動場の冷房化率はどうか。今後の計画があれば教えてほしい。

(1-3(2) 安全・安心な学校生活に向けた施設環境の整備・充実)

【事務局】

- ・屋内運動場（武道場も含めて）18施設、現時点では空調設備（エアコン）はついていない。今年度、費用等の調査をし、市の方針（計画）を定めていく。

【委員】

- ・食に関する指導について、学校給食センターでの調理の様子を紹介や健康を考えた希望メニューを考える取組など、非常に大切な取組である。今後も継続してほしい。

(2-6(1) 食に関する指導及び地産地消の推進)

- ・いろいろな経験をすることで、夢や目標がうまれてくる。羽島市には地域と密着したイベントが多くある。こどもたちは積極的にそうしたイベントに参加していけるとよい。

(2-8(3) 地域と連携したキャリア教育の推進)

【委員】

- ・「いじめの被害者だけでなく、加害者にも寄り添った支援をする」という点について、成果や課題を教えてほしい。

(1-1(1) いじめや問題行動の未然防止、早期発見・早期対応の徹底)

【事務局】

- ・いじめが起きた場合、当然被害を受けた子を一番に考えて寄り添った対応をするが、加害者の将来のことも考えた指導も大切と考えている。
- ・いじめ事案を分析した際、同じ子が複数回加害者となっている事例があった。加害者に寄り添う指導を行うことで再発の抑制につながった。

【委員】

- ・羽島市教育委員会の教育活動というのは非常に将来を見据えて、積極的に活動されている点が評価できる。
- ・現在、(第3次)教育振興基本計画を作成中と聞いている。教育活動に軽重をつけて、羽島市教育委員会が重点として取り組む内容は何かを(現行の教育振興基本計画より)集約できるとよい。そうすることで、評価の観点で散漫にならずにわかりやすい

	ものになる。 ・環境の変化が激しいため、最初に立てた評価（指標）がなかなか時代とそぐわないケースも生じる。指標に関しては状況に合わせて途中で変えていくなど、柔軟性も今後考えていけるとよい。 6 その他 7 閉会
--	--